

2022年度 町田市観光まちづくり推進委員会 会議録

○開催日時 2023年3月6日（月曜日）15時～17時

○場 所 町田市庁舎 2階 会議室2-4

○出席者 出席委員： 西田司委員長、安達廣美副委員長、川原晋委員、
王莉莉委員、三田村貴幸委員、杉森俊彦委員、安本達式委員、
亀田文生委員
欠席委員： 和田圭司委員
傍聴者： なし
事務局： 観光まちづくり課長
他事務局3名

○資 料

- 1 町田市観光まちづくり推進委員会設置要綱
- 2 町田市観光まちづくり推進委員会委員名簿
- 3 町田市観光まちづくりリーディングプロジェクト 2022～ウィズコロナ戦略～
- 4 2022年度観光まちづくりリーディングプロジェクトの進捗状況について

○次 第

1 町田市観光まちづくり推進委員会について

委員会概要説明及び委員自己紹介

2 議題

観光まちづくりリーディングプロジェクトの進捗状況について

資料3及び資料4に基づき事務局から項目別に説明。

委員からの主な質問・意見等

【1-1 「町田薬師池公園四季彩の杜」を町田のシンボルに】

・薬師池公園は、谷戸が深く、道路から見えづらい別世界観がある場所である。この別世界観は他と差別化できる点ではないか。また、四季彩の杜では施設間の移動も観光コンテンツになる。四季彩の杜がこれから変わっていくので、その様子を見られるようなコンテンツができると愛着に結びつくのではないか。

・四季彩の杜では春や秋の大きいイベントのほか、小さなイベントをたくさん行っている。イベントは他団体とも連携できるのではないか。

・四季彩の杜イベントは、どの地域からの来訪が多いか。

⇒（事務局回答）

秋に実施したイベントでのアンケート結果によるとおおよそ

町田市内：55%

町田市以外の多摩地区：20%

相模原市：15%

横浜市：10%

その他：数% である。

【1-2 花とみどりの魅力を活かした事業の展開】

・素晴らしいイベントについては町内会も積極的に関わっていききたい。また、町内会はコロナ禍でイベントができていなかったが、来期から再開される。さらに、町内会ではオープンガーデンを行っている。町田市全体を花で盛り上げたい。

・目標値がイベントの回数だが、設定理由はなにか。

⇒（事務局回答）

現状イベント回数は24回であるが、イベントを開催する余地があると思っている。花やみどりが町田の魅力であるため、その魅力をより多くの人に知ってもらうイベントを回数重ねることがねらいである。

・市民イベントではなく、観光イベントにしていかなければならない。1年間花が楽しめることをコンセプトに、いろんな事業者が関わっていける余地をつくることで稼げるようにする。

【2-1 人や情報が集まる観光ネットワークの創出】

・情報を収集して発信するにあたり、最近は閲覧数がホームページよりもSNSが増えている。タイムリーに発信すると見てもらえるのではないかな。

・他市や大学、専門学校などと連携して町田のコンテンツを紹介している。このような連携は重要である。

・市内の外国人登録者は増えていると思われる。中長期在留者達がボランティアをしたいという意識が高まってきている。国際交流だけではなく、その方達に町を楽しんで地域貢献してもらおうと良い。

【2-2 「まちなか」と「おくまち」の連携の強化】

・里山というと小野路地域が連想されるが、小山田地域にある鶴見川源流のPRもできないか。

・里山はあちこちにあるが、町田市の里山の特徴はフットパスの拠点になっているところだと思う。特徴を活かす方法として自分が歩くルート of 地形が見ることができるが良い。

・町田の観光はライフスタイルを見せていくのが良い。

・「まちなか」と「おくまち」の連携が強化され、町田駅が小野路の入口となると良い。

【3-1 ウィズコロナのシティセールスの推進】

・謎解きゲームなどは流行っていると感じる。これを活用して町田に人を呼び込むなど、いろんなことをするのは良い。

・「2-1 人や情報が集まる観光ネットワークの創出」にも関わることであるが、現在はイベントの情報を検索サイトの上位に表示しようとするには、各主催者が個別に管理しているためとても労力がかかる。統括された町田のことがわかるサイトがあると良い。

・回遊イベントに小野路宿里山交流館開館10周年を絡めるなど、他の施策と組み合わせて行くと良い。

【3-2 季節感をアピールした情報発信】

・イベントのプロモーションよりも、エリアのプロモーションやブランディングが長期的に見ると効いてくる。

【3-3 ロケーションの支援】

・サスペンス作品の殺人現場など、マイナスなイメージになりそうな作品を断ることがあるか。

⇒（事務局回答）

殺人現場として撮影したいという相談であっても、場合によって受け入れている。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響について】

- ・観光業界を盛り上げ、旅行を促進していく立場としては、日本でのマスク着用緩和には応じていく。
- ・鉄道の乗降客数は新型コロナウイルス拡大前の水準までは戻っていない。ライフスタイルが変わっている。

3 今後の観光まちづくり推進委員会について

事務局から説明

4 その他

町田市観光コンベンション協会で開催するツアーについて同協会から説明

以 上